



めざす学校像＜安心して過ごせる学校＞『今日が楽しく、明日が待たれる学校』

学校だより

鈴鹿市立加佐登小学校  
電話 059-378-0063  
FAX 共用 059-378-0006  
校長 山中 喜宏

<https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/>

# 加小っ子だより

令和6年12月11日 No.31

12月、師走となりました。気候も寒くなりいよいよ冬本番に入りました。色づいていた木々の葉っぱも落ちて、枝だけになりつつあります。

11月末の授業参観では、217人の保護者の方々に来校いただき、本当にありがとうございました。子どもたちは授業を保護者の方々に参観していただきとても張り切って、がんばっていたように思います。

今回の加小っ子だよりでも、11月末からの各学年の授業や出会い学習等、学校での活動の様子をお伝えします。



深伊沢地域づくり協議会  
(三畑地区が含まれています)  
深溝水土里を守る会が主催するわらアート

## 就学時健康診断を実施しました

11月28日(木)、就学時健康診断があり、来年4月に小学校に入学する校区に住んでいる園児40人が保護者の方とともに来校しました。

健診では、発育測定と内科、歯科、聴力、視力の各検査を行いました。子どもたちが健診を受けている間、保護者の方には、提出していただく書類等の説明と鈴鹿市が取り組んでいる非認知能力の育成とスマートフォンやSNSの使い方について説明をさせていただきました。



今後、1月下旬には、保護者の方に向けて入学説明会と物品販売をさせていただく予定です。

## 環境について考えました

12月2日(月)と4日(水)両日、1年生と2年生で本田技研工業様が取り組んでおられる環境ワゴン事業から講師の方々をお招きして環境保全に関する出前授業を行いました。

はじめに、講師の方から、環境に配慮することの大切さと日常でできる環境に負荷をかけない取組について説明を受け、その後、ドングリや松ぼっくりなどを使った工作を行いました。道具の説明を受けた後、各自が創意工夫を凝らし、材料選びから行い、一つの作品を仕上げていきました。



1年生と2年生で実施しましたが、取り組み方を観ていると、1年の違いで、話を聞く姿勢や制作に挑む態度、道具の使い方など、大きな差があることにとても驚きました。2年生の子どもたちの成長をとても感じ、「さすが、お兄さんお姉さんだな」と思いました。

子どもたちには、今回学んだ、環境にやさしい社会を作っていくということを、普段の生活の中でも意識し、活かしていったほしいと願っています。



## 鈴鹿市小学校音楽会が開催されました

12月4日(水)の児童集会では、4年生が出演する鈴鹿市音楽会のリハーサルも兼ねて、全校の子どもたちを前に本番で合唱、合奏する曲を披露しました。

10月ごろから本格的な練習に入り、2か月間、しっかり練習をしてきた成果をみんなの前で十分に発揮することができました。

演奏を聴いた子どもたちは「気持ちが一つになって上手だった」、「みんながんばっていた」、「合唱が上と下のパートに分かれていてきれいだった。」など、感想を自分の言葉で4年生に伝えることができました。それを聞いた4年生は少しはにかみながらも少し満足した表情でした。

12月6日(金)の本番では、イスのサンケーホール鈴鹿で合唱と器楽合奏を披露しました。

当日は、みんな普段とは違う空気感が漂う中、少し緊張はしていたものの、ころを一つにして、自信をもって臨むことができたと思います。きれいな歌声がホールに響き渡る合唱とともに、気持ちを一つにした器楽合奏ができました。

大きなホールで大勢の人の前で演奏を披露することやほかの学校の演奏をホールで鑑賞できるというとても貴重な経験ができたと思います。



# 自分たちが使うところは自分たちが責任を持って

加佐登小学校では原則、水曜日を除く毎日、先生も含め 10 分間の時間いっぱいのおそうじを行っています。

学校経営の改革方針の中でも「時間いっぱいのお掃除活動」を位置づけて取り組んでいます。

この時期、空気が乾燥し、廊下や教室はほこりでいっぱいです。でも、みんなが毎日、ほうきやぞうきんを使って、一生懸命にはき掃除やふき掃除を行ってくれるため、教室や廊下にほこりのかたまりが落ちていることがめったにありません。

また、子どもたちは 10 分間という短い時間ではありますが、時間を有効に使い、トイレや流しなどの水まわりも本当にきれいにしてくれます。さらに、ごみを集めていると、だまってちりとりを持って手伝ってくれる子どももいます。

加佐登小学校の校舎はかなり古くなってきましたが、みんなのおそうじのおかげで校舎内はとても明るい雰囲気にあふれています。

そうじから学べる事は、毎日続けることで環境の少しの変化への気づきがあったり、集中して行うことで自分を見つめる時間となったり、きれいにするために友だち同士で協働したり、創意工夫に考えを巡らせることができたりなど、いろいろな教育的効果があると考えています。

また、「自分たちが使うところは自分たちが責任を持ってきれいにする」という意識を持って、毎日少しずつコツコツ積み重ねられることはとても大切なことだと考えています。

1 年生から 6 年生までそれぞれの発達段階に応じて、本当に一生懸命そうじに取り組んでいる加佐登小学校の子どもたちは、とても素敵です



## 小さな親切ありがとう

学校であったエピソードを一つ。

先日、運動場にお菓子の包み紙やペットボトルが目についたため、生活指導担当者が、運動場の使い方について、全校の子どもたちに呼びかけました。

そうしたところ、複数の児童が、「ごみ拾いに行く！」と担任に宣言し、運動場にかけていき、ごみを拾って生活指導の担当者に持って行ったそうです。そして、1 回だけでなく、休み時間ごとに拾いに出たと担任から報告を受けました。

自分ができることを考え、行動に移せることがとても素晴らしいと思い、話を聞き終わってすごくうれしかったです。

